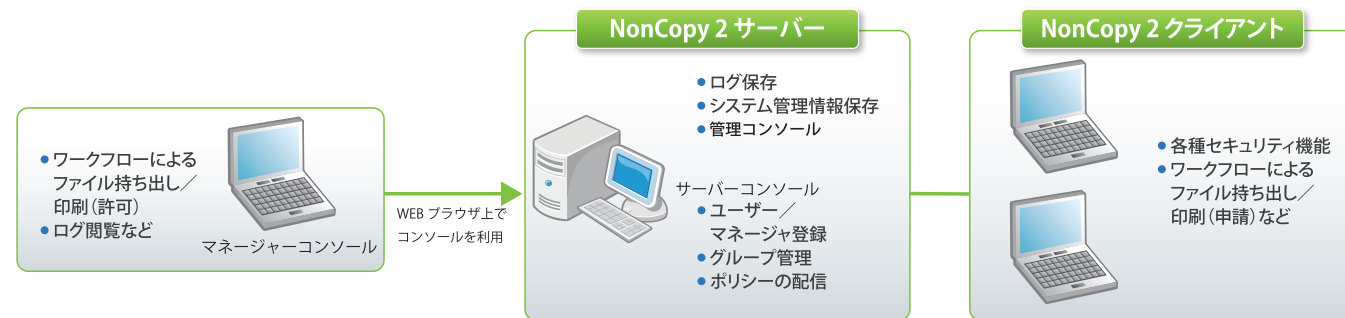


NonCopy 2 ソフトウェア概要図

NonCopy 2 はサーバー、クライアントの 2 種類のソフトウェアから構成され、マネージャーは WEB ブラウザにより各機能を利用します



NonCopy 2 機能比較表

	NonCopy 2 セキュリティスイート (SS)	NonCopy 2 デバイス制御 (DC)	NonCopy 2 フォルダ制御 (FC)
主な機能			
デバイス制御機能	クライアント PC からのファイル持ち出し禁止	○	○
	Wi-Fi 経由のファイル持ち出し禁止	○	○
ポリシーの自動切り替え	ポリシーの自動切り替え	○	○
ワークフロー	ワークフローによるファイル持ち出し、印刷許可	○	○
	持ち出しファイルのシャドウイング	○	○
共通機能			
フォルダ制御機能	保護フォルダ内ファイルの自動暗号化	○	○
	NonCopy モード時のコピーガード	○	○
その他のデバイス制御機能	解除キー(別売オプション)	○	○
	指定 USB デバイスへの持ち出し	○	○
ログ機能	NonCopy クライアントの各種ファイル操作ログ取得	○	○
マネージャコンソール	ログの参照	○	○
システム管理	クライアントポリシーの管理	○	○
	グループ管理	○	○
	ActiveDirectory と連携したグループ管理	○	○

※共通機能のうち、ワークフロー・ログ機能・システム管理を利用する場合は、NonCopyサーバ構成が必要です。
※エディションにより取得できるログが異なります。詳細はお問い合わせ下さい。

NonCopy 2 動作環境 (各OSは日本語版のみ対応)	NonCopy 2 クライアント	【NonCopy 2 クライアント】 ・Windows Vista(SP2) ・Windows 7 (SP1) ・Windows8.1 (Update1) ・Windows 10(Ver.1511及び1607対応) <small>※ Vista (SP2)のみ32bit版対応、他のOSは32bit、64bit対応 ※別途、Microsoft .NET Framework (4.5.2, 4.6.0, 4.6.1, 4.6.2)、VisualStudio 2010 Tools for Office Runtimeが必要です</small>
	NonCopy 2 サーバー	【NonCopy 2 サーバー】 ・Windows Server 2012 Standard Edition ・Windows Server 2012 DataCenterEdition ・Windows Server 2012 R2 Standard Edition ・Windows Server 2012 R2 DataCenterEdition ・Windows Server 2016 Standard Edition ・Windows Server 2016 DataCenterEdition <small>※別途、Microsoft SQL Server(2012, 2014, 2016)-Express Edition含むが必要です。 ※別途、Internet Information Services(8.0, 8.5, 10.0)、Microsoft .NET Framework(4.5.2, 4.6.2)が必要です。</small>

※最新の動作環境は弊社WEBページを参照ください。

ソフトウェアライセンスの最小構成は、クライアント 30 ライセンス・サーバー 1 ライセンスです。別途、年間保守料がライセンスの 15% 必要です。

開発元



サイエンスパーク株式会社

<http://www.sciencepark.co.jp>
sales-products@sciencepark.co.jp

〒252-0024 神奈川県座間市入谷3-1649-2
 TEL:046-255-2544(代) FAX:046-255-0319

お問い合わせ先

※記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※本カタログはNonCopy 2 Version 1.5を前提としています。
 ※本カタログの内容は製品改良のために予告なしに変更することがありますので予めご了承ください。

SP1612-A03

Driverware

NonCopy 2

PC から各種外部デバイスへの情報漏洩を防止!



デバイス制御

ポリシー切り替え

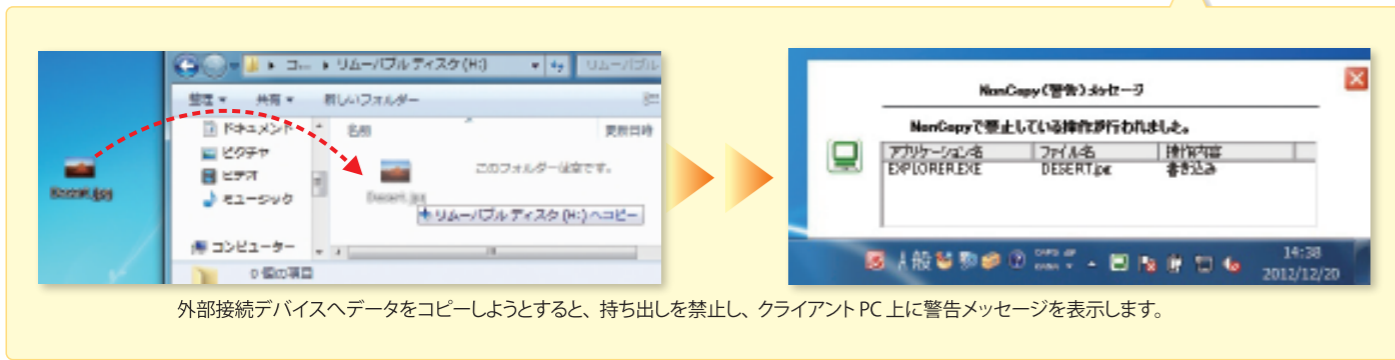
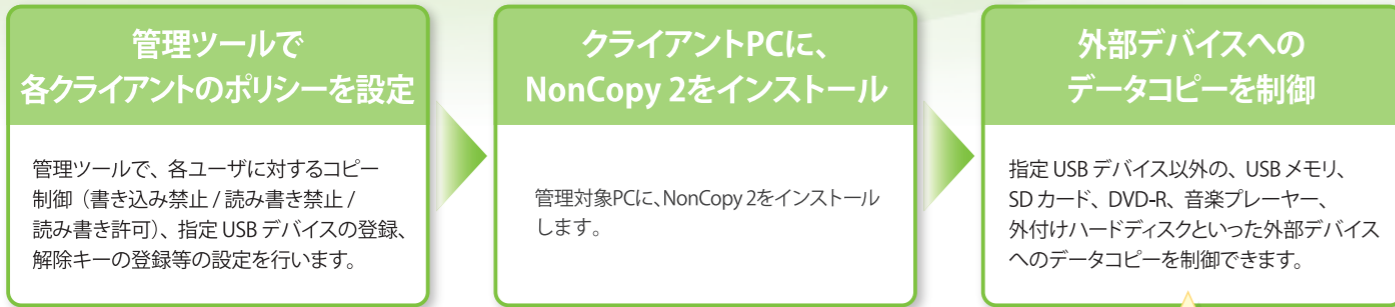
ワークフロー

サイエンスパーク株式会社 <http://www.sciencepark.co.jp>



NonCopy 2をインストールしたPCから、スマートフォンを含む各種外部デバイスへのファイルコピーを禁止

デバイス制御カンタン3STEP



読み込み禁止対応

外部記憶媒体への書き込みだけでなく読み込みも禁止することができ、USBメモリからのウイルス感染等を防止します。

制御可能なデバイス

デバイス種別	例	制御内容
リムーバブルデバイス	USBメモリ(ドライブレターの割り当てが可能なリムーバブルデバイス)、FD、MO	書き込み禁止 / 読み書き禁止 / 読み書き許可
ポータブルデバイス	スマートフォン・デジタルカメラ(MTP/PTP接続を行うデバイス)	書き込み禁止 / 読み書き禁止 / 読み書き許可
CD-R/RW、DVD-R/RW、BD-R/RE	(ライティングソフトウェア経由を含む)	書き込み禁止 / 読み書き禁止 / 読み書き許可
Apple Phone	iPhone/iPod/iPad (iTunesとの同期)	許可 / 禁止

Wi-Fi 制御対応

Wi-Fi 経由のインターネット接続を禁止できます。SSIDを登録して特定のアクセスポイントによる通信のみ許可することも可能です。管理者が許可していないWi-Fi機器経由での情報漏えいを防止します。

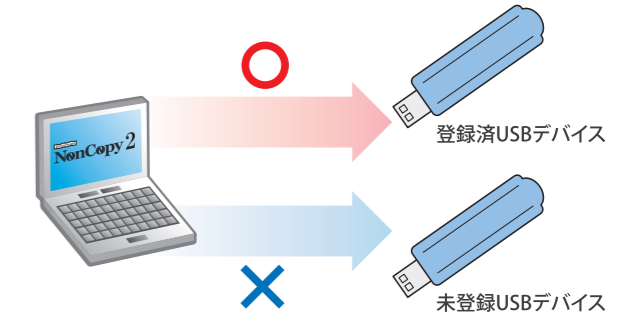
解除キー

専用USBトークンを「解除キー」として設定できます。NonCopy 2クライアントPCのUSBポートに差し込むとファイルの持ち出し禁止機能が解除されます。



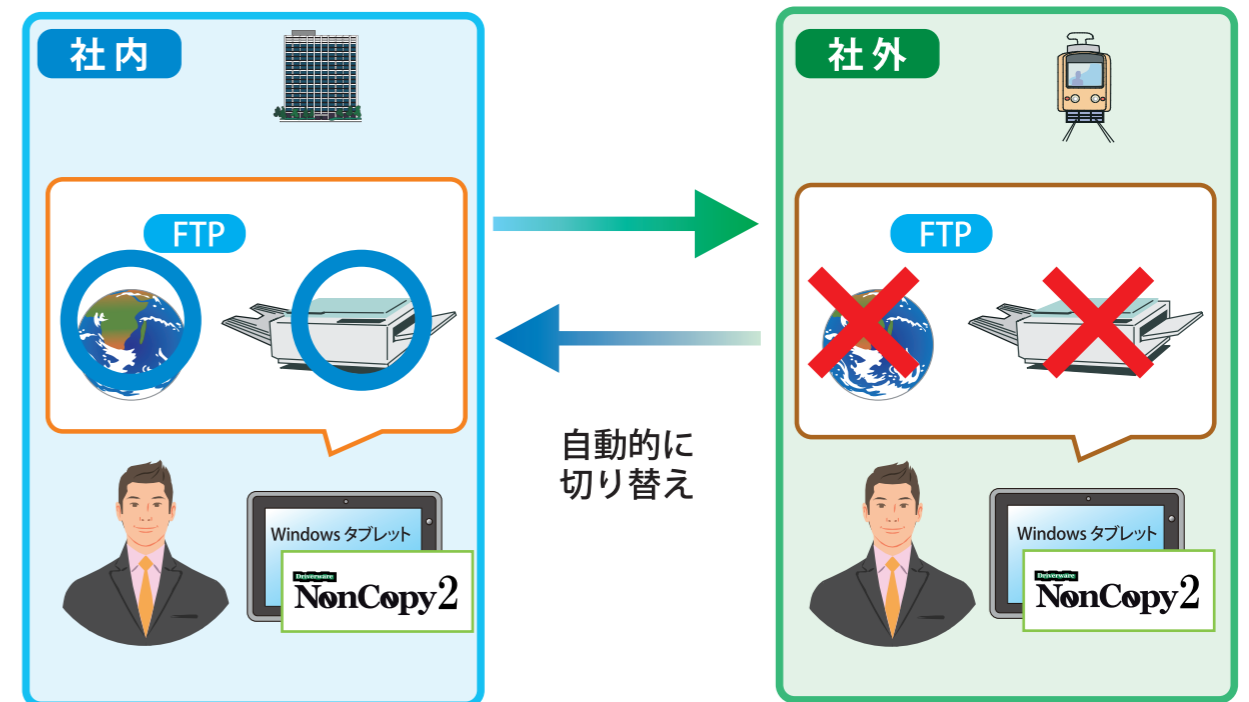
指定USBデバイスへの持ち出し

NonCopy2で登録・許可された指定USBデバイスには、ワークフローによる申請なしでファイルを持ち出し・保存できます。



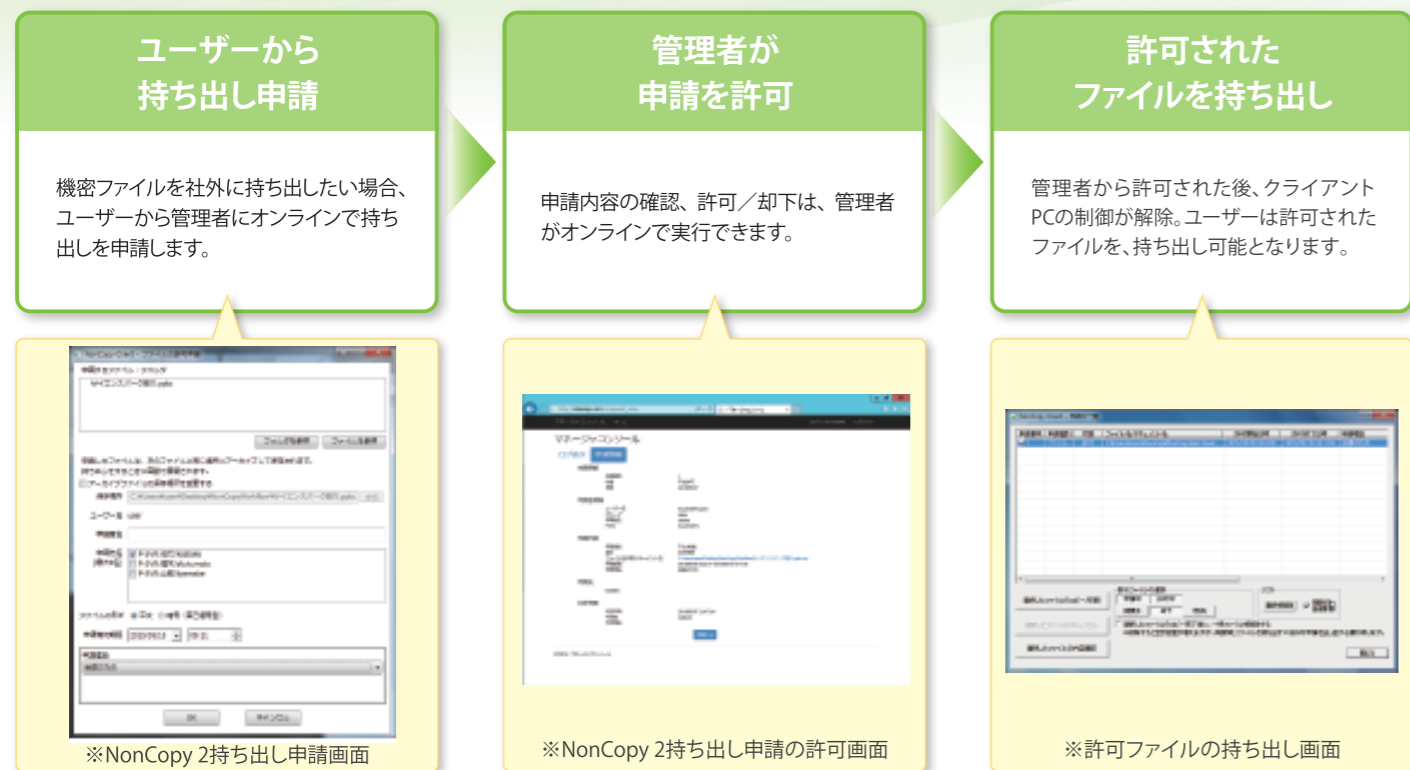
》セキュリティポリシーの自動切り替え

同じ端末でも、条件により異なるセキュリティポリシーを定義できます。たとえば、ネットワークアクセスについては社内(NonCopyサーバー接続時)は接続不可、社外(NonCopyサーバー切断時)は接続禁止にすることで、ファイルを端末から不正に持ち出すことを禁止します。

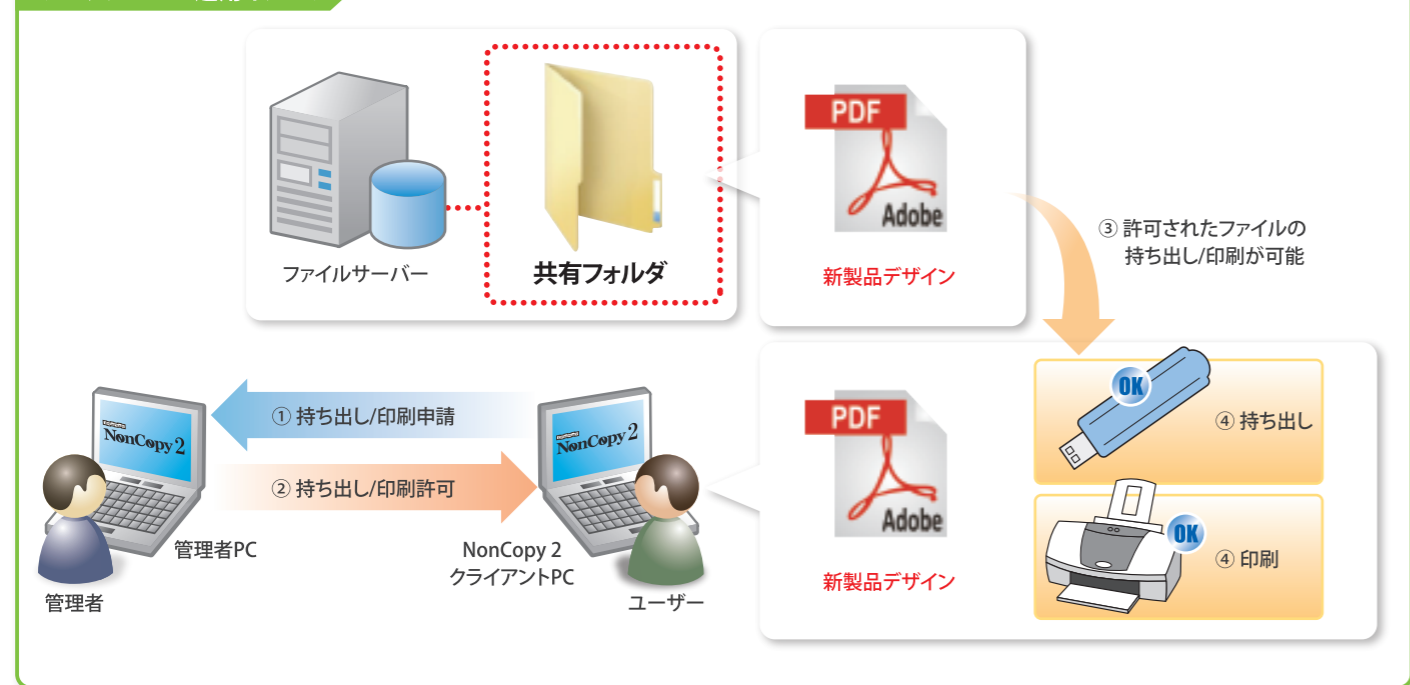


ワークフロー機能を利用することで、許可されたファイルのみ持ち出し(印刷)可能になります。

申請～持ち出し3STEP ※申請～印刷STEPは異なります



ワークフロー：運用イメージ



持ち出し時にファイル暗号を強制可能

管理者は、申請を許可する際、ファイルのセキュリティレベルに応じて「明文」「自己復号暗号（パスワード付暗号化）」を指定できます。

5種類のログでユーザーの操作を監視

ファイルアクセスログ（ファイルログ）、印刷ログ、申請ログ、URLログ、メール送信ログ（メールログ）の5種類のログでユーザーの操作を管理します。ログはコンソール上でマネージャ（情報システム部門、部門長）が閲覧できます。



※NonCopy 2ファイルアクセスログ画面(一覧)



※NonCopy 2ファイルアクセスログ画面(詳細)



※NonCopy 2申請ログ画面(一覧)

取得できるログは、

- 日付
- PC名
- ユーザー名
- ファイル名
- アプリケーション名
- 操作内容

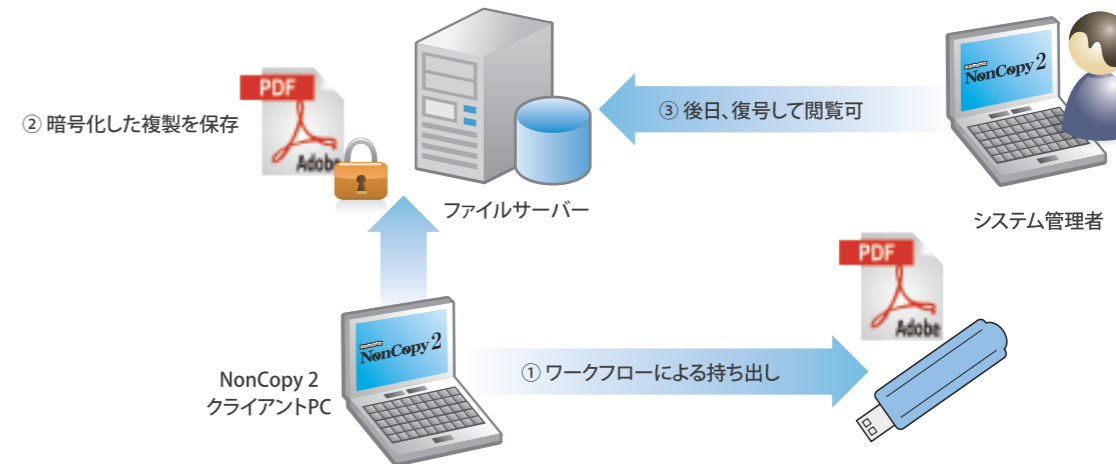
など

※スマートフォンに対するファイル持ち出し禁止ログも取得可能



シャドウイング

ワークフローで持ち出されたファイルの複製をサーバーに保存



ワークフローで持ち出されたファイルは、ログとして記録が残るだけでなく、ファイルそのものの複製がサーバーに保存されます。サーバーに保存された複製データは暗号化して保存されるため、不正な閲覧、改ざんが防止されます。

情報漏えいインシデント発生時には、システム管理者が持ち出されたファイルの内容を確認できます。

NonCopyフォルダ内のファイルが、NonCopyフォルダ外へコピーされることを防止

フォルダ制御カンタン 3STEP

NonCopy モード開始で PC をセキュリティモードに移行

タスクトレイアイコンからPCをセキュリティモード (NonCopy モード) に切り替えます。NonCopy モード中はコピーガードが有効になります。

閲覧・編集環境は維持しつつ外部流出を防止

NonCopyフォルダに移動したファイルは、クライアントPCから閲覧や編集はできますが、NonCopyフォルダから外に出せません。

NonCopy モード終了でセキュリティモードを解除

NonCopy フォルダの保護ファイル利用後は、手で NonCopy モードから通常モード (セキュリティ解除) に切り替えます。



自動暗号化・復号

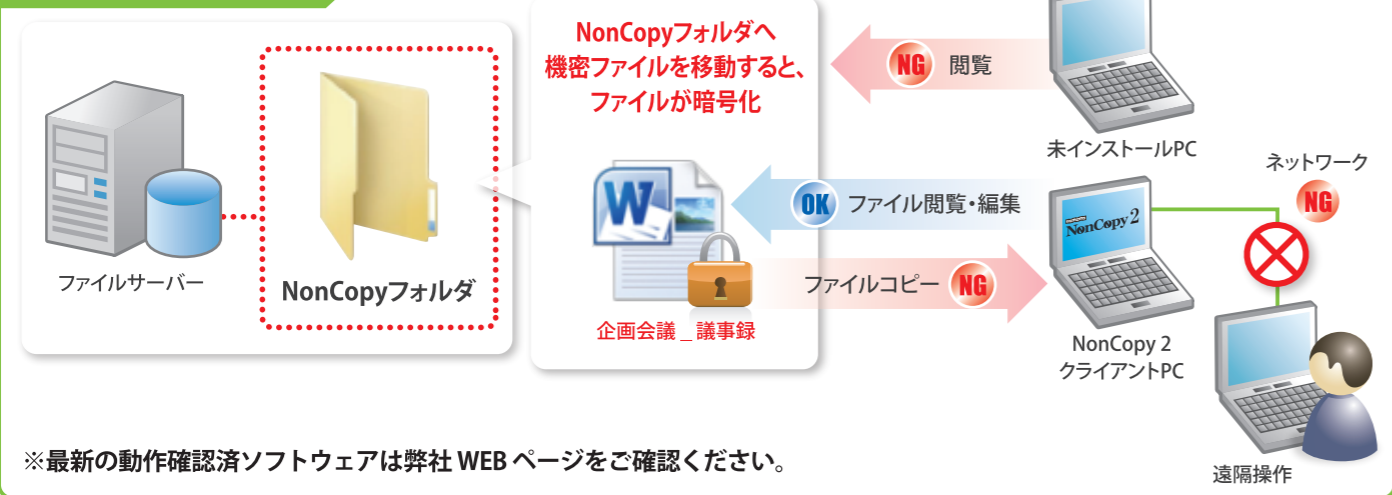
NonCopyフォルダ内のファイルは自動的に暗号化されます。暗号化されたファイルは、NonCopy 2クライアントPCからアクセスすると自動的に復号され、編集作業が可能になります。NonCopy 2がインストールされていない私物PCでNonCopyフォルダ内のファイルにアクセスしてもファイルを復号できません。



コピーガード機能

- 内蔵HDD/外部記憶媒体へのコピー
- 印刷
- メールへの添付
- FTPなどによるアップロード
- コピー&ペースト/画面キャプチャ

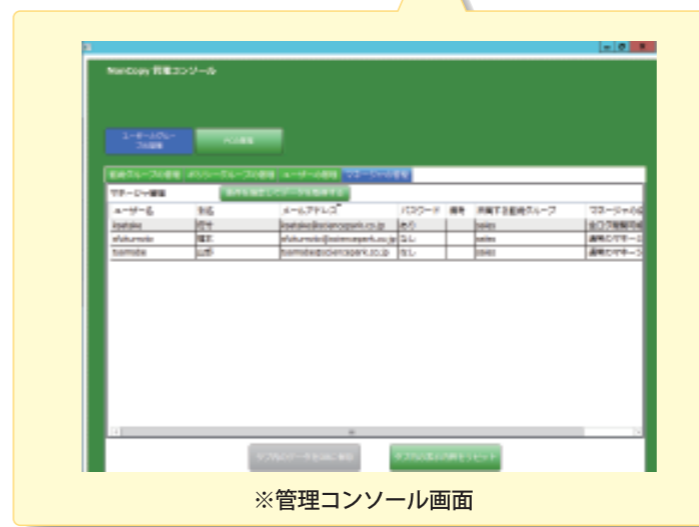
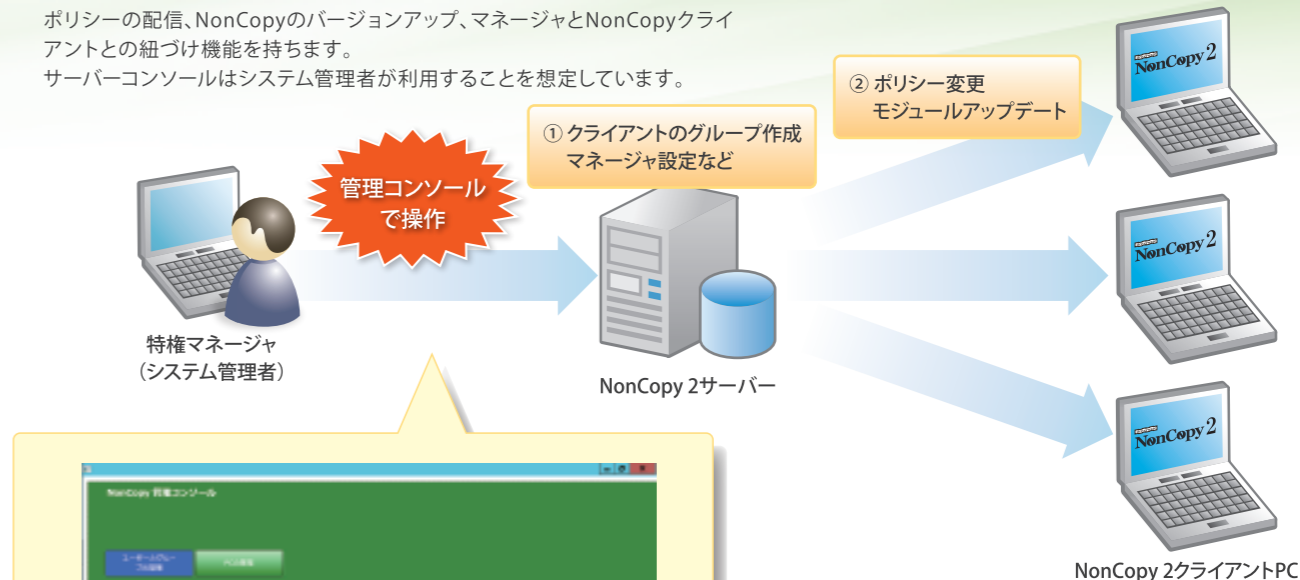
フォルダ制御：運用イメージ



管理コンソール

サーバーコンソール

ポリシーの配信、NonCopyのバージョンアップ、マネージャとNonCopyクライアントとの紐づけ機能を持ちます。サーバーコンソールはシステム管理者が利用することを想定しています。



セキュリティポリシーの設定

クライアントのセキュリティポリシーは専用ツールで設定します。ユーザ別に細かい設定が可能です。



Active Directory と連携したユーザ管理

ActiveDirectory から条件に該当するユーザを抽出し、NonCopy 2 の管理グループと結びつけることが可能です。営業部 OU に所属するユーザに対して共通のポリシーを適用させるような運用が可能です。それにより、環境構築時・異動時の管理にかかる負担を軽減できます。

